

北海道バックアップ拠点構想（要旨）

I 策定の趣旨

今後の大災害等に備えた我が国全体のバックアップ体制のあり方を提起するとともに、その中で、本道の優位性や開拓・開発の歴史的経験を活かしながら、北海道がバックアップ拠点としての役割を果たしていくための方向性を提示

II 我が国全体のバックアップ体制の確立に向けて

1 バックアップ体制構築の必要

首都直下地震、東海・東南海・南海地震など大災害に対する備え

東日本大震災からの復興と震災を契機に再認識された課題の克服

海外における重大リスクへの対応

2 目指す方向性

強固な
防災対策

〔被害の防止〕

+

多重・分散型の国土軸の形成と多極間ネットワークの強化

代替・支援機能の整備

〔被害の最小化と被災からの早期回復〕



強さとしなやかさを兼ね備えた
強靱な国土の実現

3 推進に当たっての基本的な考え方

◆我が国全体のバックアップ体制の構築を効果的に進めていくためには、国全体の取組の中で、地方自治体、民間等の各主体がそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携していくことが必要

III バックアップ拠点としての北海道の役割と可能性

1 拠点形成に当たっての基本的な考え方

- ◆国全体の取組の中での北海道の役割の発揮
- ◆北海道開発の経験や枠組みを活かした道主体の取組推進

2 拠点形成に向けた視点

- ◆強みを活かし、北海道が担うバックアップ機能を重点化
- ◆「遠さ」「寒さ」などのボトルネックを優位性に転換

3 北海道が担うバックアップ機能

◆北海道が担うべきバックアップ機能として、次の6つの分野を位置づけ、拠点形成に向けた政策を総合的に展開

食料・水の安定供給

国内分散型の産業活動の拠点形成

被災地への緊急的支援

エネルギーの安定供給

国の行政機能の代替

一時避難や移住の受け入れ

4 道内各地域における拠点形成のあり方

- ◆6つのバックアップ機能を北海道が担っていくためには、道内各地域の特性に応じた拠点整備を進めていくことが必要
- ◆道内各地域における取組の進展も踏まえながら、地域相互の連携を重視した拠点形成を推進

5 バックアップ機能を発揮するための社会資本整備

◆北海道がバックアップ拠点として、多重・分散型の強靱な国土づくりに貢献していくためには、全国各地域との人・モノ・情報の円滑な流れを確保することが不可欠であり、陸・海・空の交通ネットワークをはじめとした社会資本整備の着実な推進が必要

多重・分散型の国土形成と北日本の発展を加速する北海道新幹線の早期整備

道外との物流拠点となる港湾の機能強化

高規格幹線道路を中心とした道内交通ネットワークの整備

道内外を結ぶ航空ネットワークの確保

道内外をつなぐ情報・送電網の整備

IV 構想の着実な推進に向けて

1 構想実現に向けた考え方

- ◆国土政策の早急な見直し等について、国に対し積極的に働きかけるとともに、道施策を着実に推進
- ◆北海道がもつ強みの発揮や現下の課題への対応といった観点から優先度を考慮した施策の重点化を推進

2 推進の手立て

- ◆国等への効果的な要望と戦略的な広報活動を推進
- ◆北海道開発予算関連事業など国の施策等を効果的に活用
- ◆道内各地域との連携により、北海道全体で取組を推進
- ◆道として主体的な取組を推進